



大明小学校

校長室から

令和元年11月6日

No. 38

文責 校長 飯久保一男

陸上記録会（6年生の活躍）

11月より、タイトルをまたマイナーチェンジしました。
ホームページではカラーで見られます。

4支会（旧楡形・甲西・若草の小中学校）陸上記録会が、楡形総合公園陸上競技場で行われました。6年生は、運動会が終わった次の週から、種目ごとの記録を測定し、出場種目を決め、体育の時間や朝の練習、放課後の練習と取り組んできました。甲西中の陸上部の先輩に指導を受けたり、本校教職員も分担して指導に当たったりしてもきました。

6年生の目標は、「自己ベストを出すこと」でした。自分の記録を知ったうえで、自分の記録に挑戦し、その記録を0.1秒でも、1cmでも伸ばそうと取り組みました。

全員を紹介したいところですが、入賞した子と目標であった「自己ベスト」を出した子たちを紹介します。

【入賞】

男子	走り幅跳び	前島 大志	(1位)	
	ボール投げ	秋山 聖希	(5位)	
	走り幅跳び	保坂 侑志	(7位)	
	走り高跳び	市川 凜	(4位)	
女子	800m	大堀 万織	(7位)	
	走り高跳び	中込 祭	(7位)	
	60mハードル	田中陽菜乃	(8位)	
	走り高跳び	中村 美憂	(8位)	
	400mリレー	大明小Aチーム	(6位) …中込 祭, 小川 更, 加藤日真莉, 田中陽菜乃	

【自己ベスト更新】

男子	100m	小林 大	志村空乃介	白井 謙		
	60mハードル	大杉 彩	西海 錬	高澤 飛龍	田中 陽琉	
	1000m	齊間 隆寛	平岩 瑞生	久保 開誠	松川 聖生	望月 秀一
	走り幅跳び	中込 琉輝	前島 大志	保坂 侑志		
	ボール投げ	秋山 聖希	伊藤 巧真			
女子	100m	篠原 楓佳	穴井 咲帆			
	60mハードル	深沢 栞菜	渡辺 美海	清水 朔佳	田中陽菜乃	横地 奈緒
	800m	小川 更	大堀 万織	加藤日真莉	渡邊 真佳	勝 芹奈
	走り高跳び	中込 祭	中村 美憂	市川 凜		
	走り幅跳び	名取 愛亜				

本番の緊張の中、ギリギリ入賞に及ばなかった子も、自己ベストの更新ができなかった子もいます。悔しい思いもまた必要です。その悔しさをどう生かすかが大切です。

そして、6年生が素晴らしいのは、競技だけではありませんでした。

応援をとてがんばり、大明小の一人一人に応援を送りました。応援席からいちばん遠い場所で競技をした子にも届いていたはずです。

また、最後に、全員で写真撮影をしようというときも、疲れている中、さっと並んで撮影しました。こういう一つ一つの行動にその人たちの力が表れるのです。



いままでに
いったいどれだけ走ったか
残すはたったの42キロ

高橋 尚子



高橋尚子さんは、シドニーオリンピック女子マラソンの金メダリストです。元世界記録保持者でもあります。女子スポーツ界では初の国民栄誉賞の受賞者です。この言葉は、当時、世界新記録をたたき出したベルリンマラソンの前に、高橋さんが詠んだ言葉です。

高橋さんは学生のころは、注目される選手ではありませんでした。高校2年生のときに初めて県代表に選ばれて全国都道府県対抗女子駅伝に出場しました。そのときの区間順位は47人中45位でした。つまり、その後の努力と猛練習で、金メダルを取る選手にまで成長したのです。

私たちがこれから42km走るとなれば、長いなあ、きついよなあと思うのは当然です。しかし、それまでに何万キロも走ってきた、特別ハードな練習で有名だった高橋さんにとって、本番のマラソンは「たったの42キロ」でしかないというこの言葉に驚かされます。努力の人で、練習を必死にがんばってきた高橋さんにとって本番はそこをご褒美だったのかもしれない。